



平成 22 年 4 月 27 日

各 位

会社名 エンシュウ株式会社
代表者名 代表取締役社長 中安 茂夫
(コード：6218 東証第1部)
問合せ先 取締役管理本部長 中村 泰之
(TEL053-447-2111)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 2 月 9 日に公表した平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上及びその内容

(1)減損損失 1,042 百万円

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、遊休資産等について減損処理を行うものであります。

(2)環境対策引当金繰入額 204 百万円

PCB (ポリ塩化ビフェニル) 廃棄物の処理費用等の支出に備えるため、今後発生すると見込まれる費用を計上するものであります。

(3)固定資産廃棄損 157 百万円

工作機械関連事業及び輸送機器関連事業において、生産体制の見直しにより、今後の使用見込みを検討した結果、不用となる機械装置等を廃棄したことによるものであります。

2. 業績予想の修正

平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,580	△2,590	△2,530	△3,290	△51.98
今回修正予想(B)	14,730	△2,790	△2,610	△4,740	△74.91
増減額(B-A)	150	△200	△80	△1,450	—
増減率(%)	1.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	41,562	311	△165	△636	△10.06

3. 業績予想修正の理由

売上高は概ね計画通りに推移しておりますが、営業損益及び経常損益につきましては、原価低減や経費削減に努めてまいりましたが前回発表値を下回る見込みとなりました。また、当期純利益につきましては、上記の特別損失等の計上により大幅に下回る見込みとなりました。

以上により、平成 22 年 3 月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

4. その他

上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以 上